

一級河川 赤根川

河川改修事業について

- ① 事業化までの経緯概要
- ② 河川整備計画の変更
- ③ 河川改修事業の概要
- ④ 河川改修事業の取組み状況・予定
- ⑤ 遊水地設計のポイント
- ⑥ 地下水観測の実施概要

① 事業化までの経緯概要

令和5年度～	河川整備計画の見直し検討
令和6年度	河川整備計画の変更 ・R6.10 九頭竜川流域懇談会 ・R6.11 地域住民説明会 ・R6.12 大野市への意見聴取 ・R7.3 河川整備計画の変更
令和7年度	河川改修の事業化

※ 河川整備計画とは、河川管理者が、概ね30年を対象期間として、河川整備の目標や内容を定めた計画

② 河川整備計画の変更

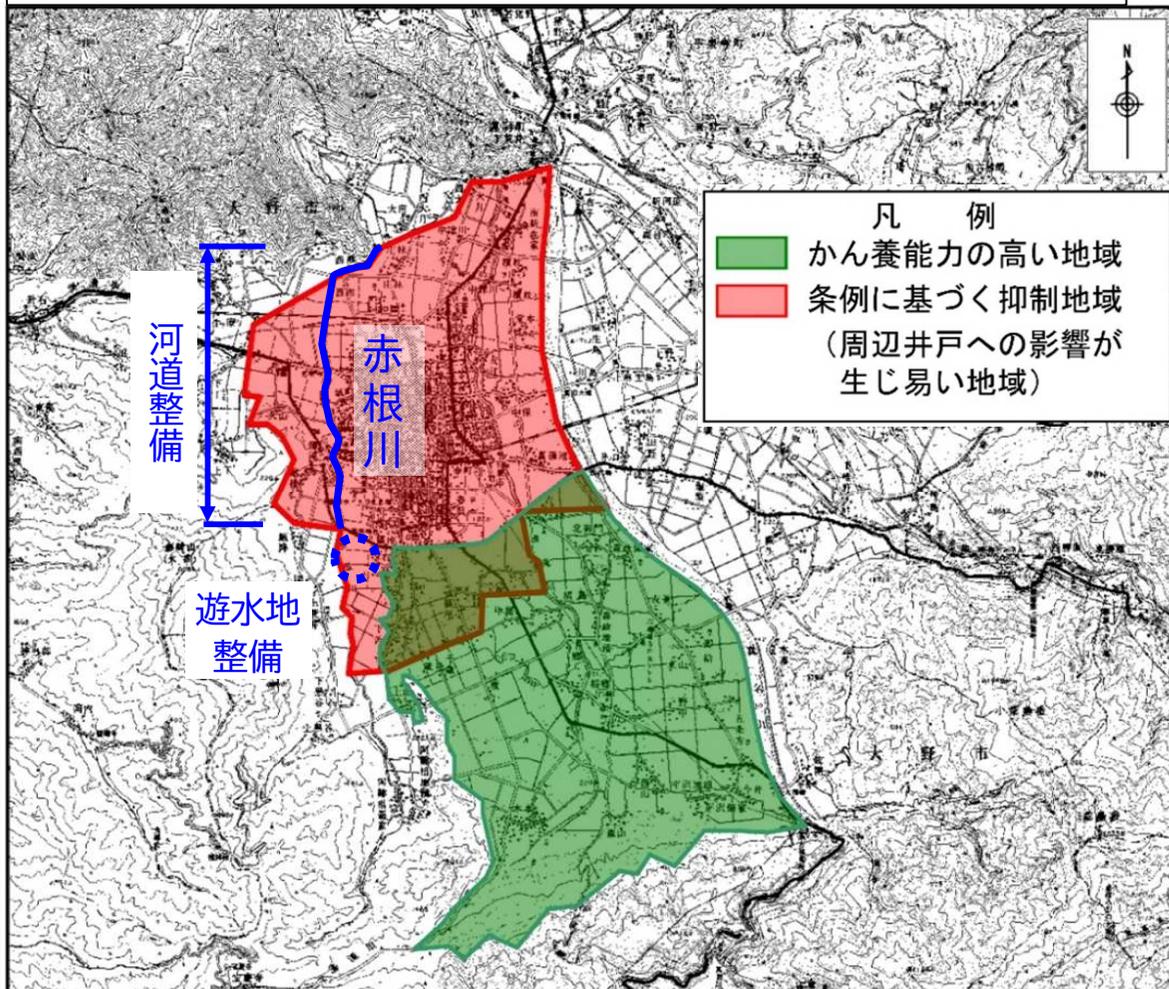
- 気候変動による降雨量の変化を考慮して、計画流量を設定。
- 地下水の河川への流出抑制に配慮した河川改修に変更。

	当初	変更
計画降雨 (計画流量)	気候変動 考慮なし	気候変動 考慮あり ※ 確率1/50の24時間雨量244.0mm を1.1倍して268.4mmに設定
河川改修	河道拡幅 + 河床掘削	河道拡幅 + 河床掘削(現況河床高相当) + 遊水地

【参考】地下水量保全指針の該当区域／区間流量観測結果

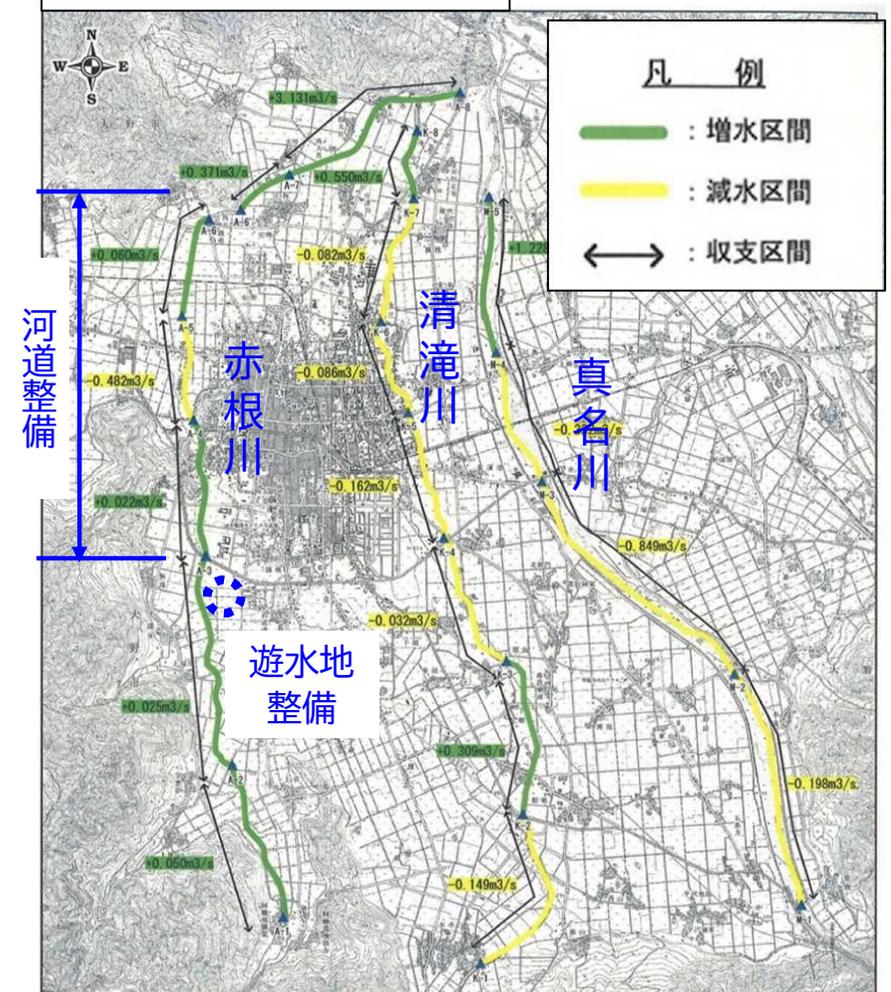
- 河道整備区間、遊水地計画地は「周辺井戸への影響が生じ易い地域」に位置し、赤根川の大部分は地下水が河川内へ流出している状況。地下水の河川への流出抑制に配慮した河川改修が必要。

開発行為等に際しての地下水量保全指針の該当区域



出展：大野市水循環基本計画(R3.2)

区間流量観測結果



出展：大野市地下水総合調査(H14)

② 河川整備計画の変更

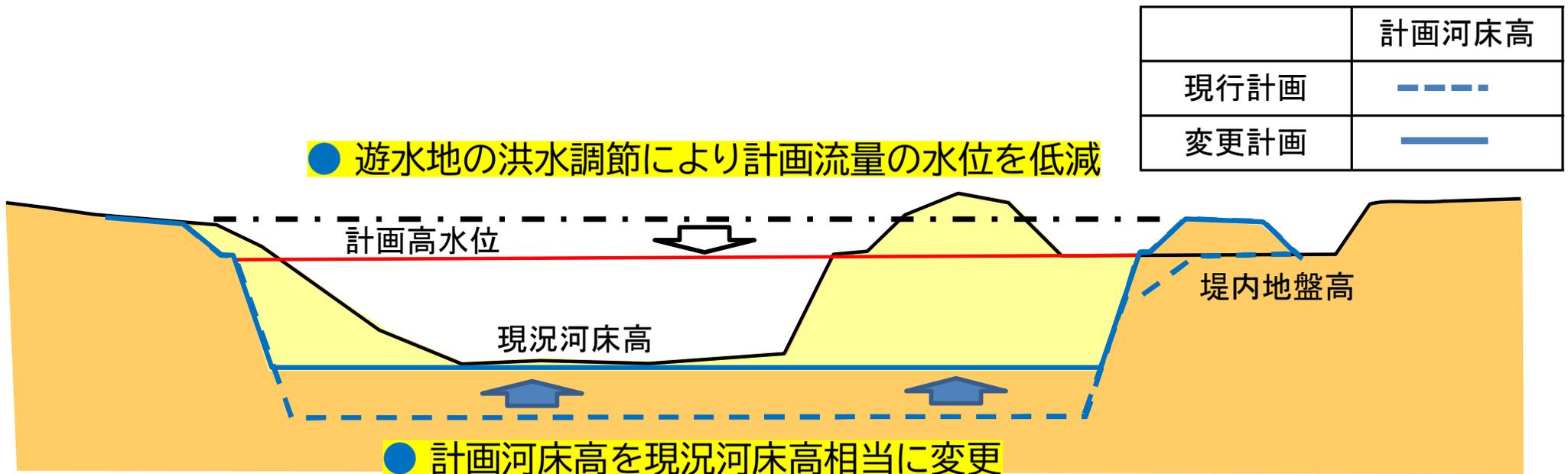
【河川改修の変更】

- 縦断計画の見直し

⇒ 地下水の河川への流出抑制に配慮して、計画河床高を現況河床高相当に変更

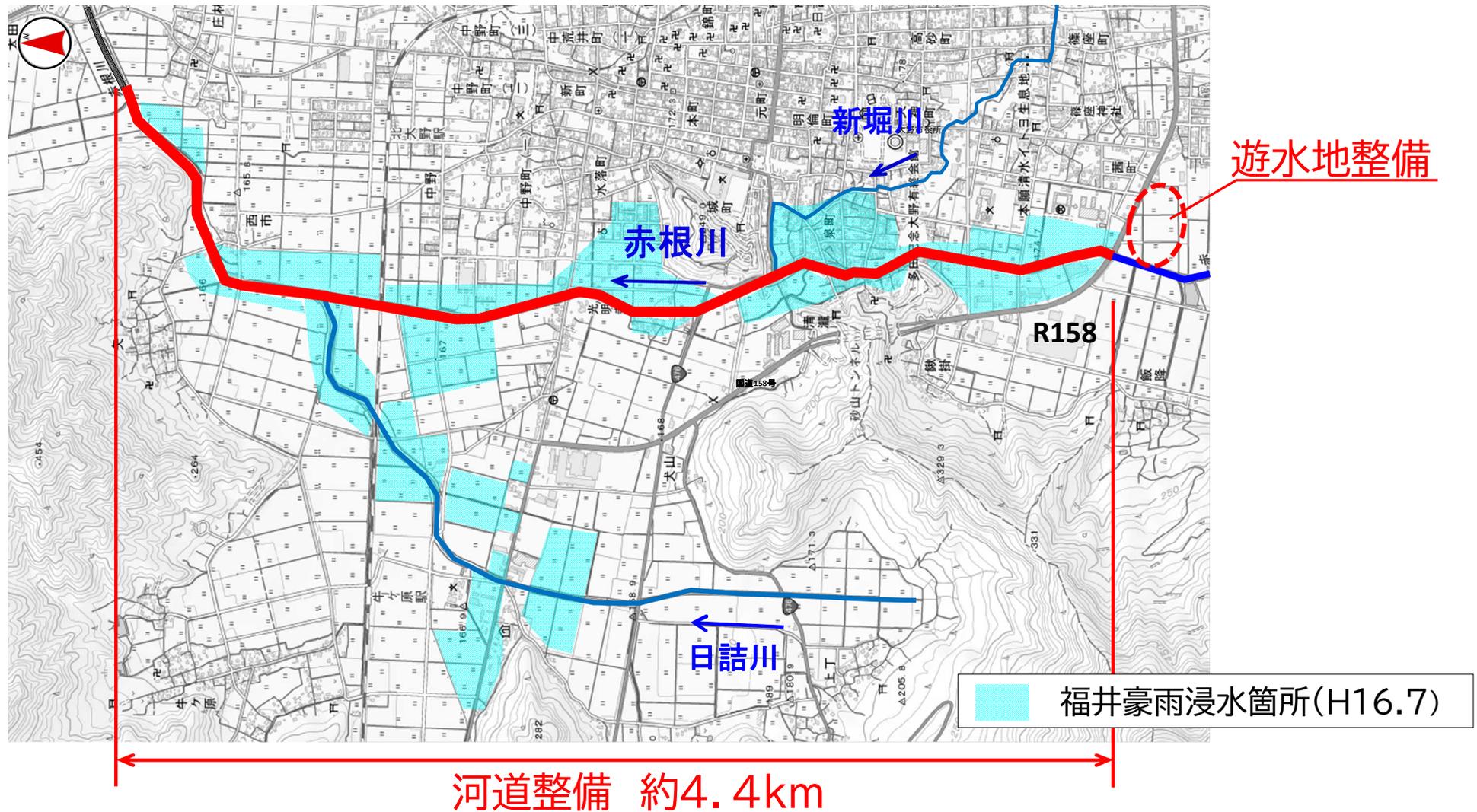
- 遊水地の追加

⇒ 上流に遊水地を追加し洪水調節することで、計画流量の水位を計画高水位以下に低減（河道改修だけでは計画高水位を超える区間が発生）



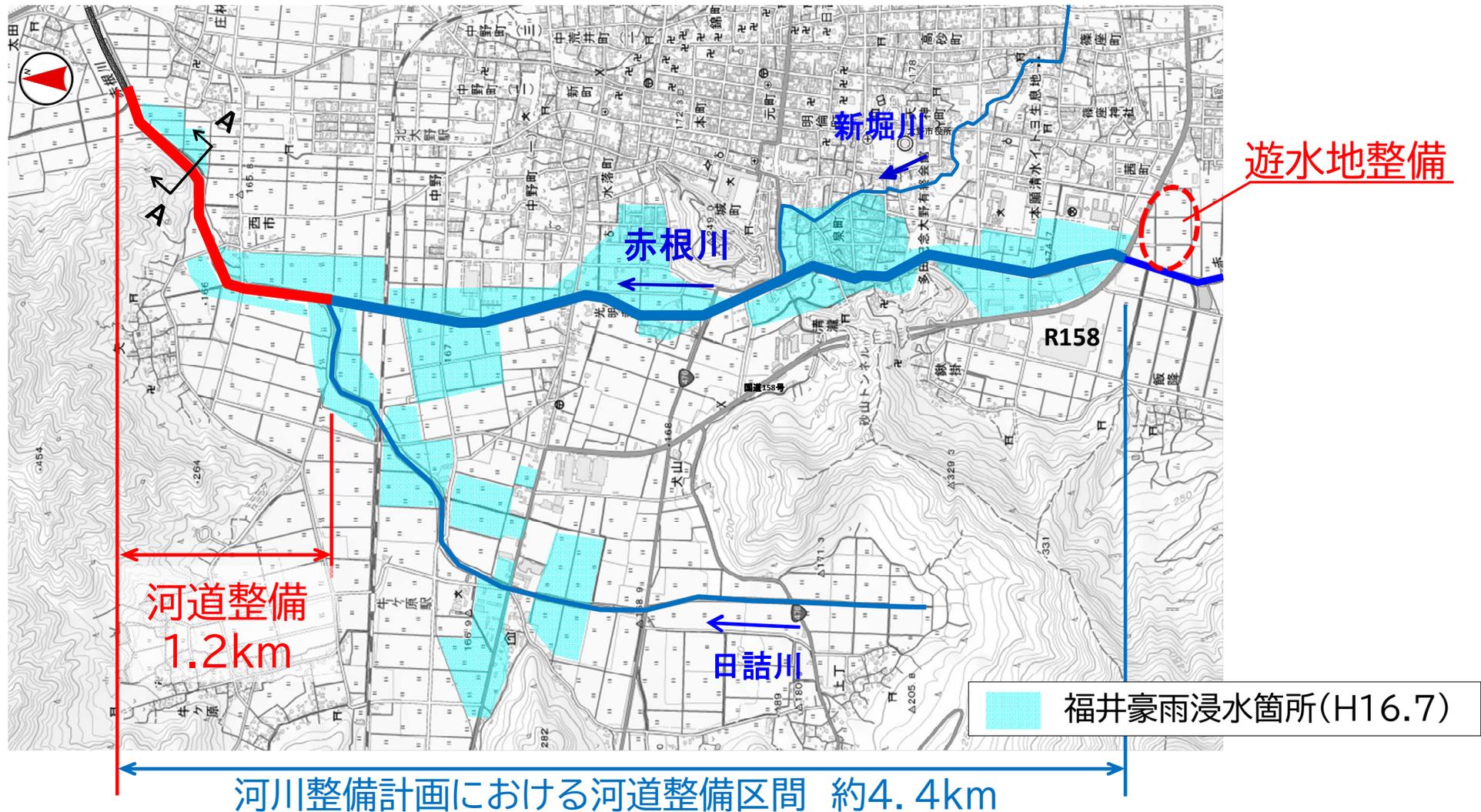
② 河川整備計画の変更

- 計画規模：1/50（概ね50年に1度の大雨による洪水への対応）
- 河道整備：河道拡幅＋河床掘削（現況河床高相当） 約4.4km
- 遊水地整備：1箇所



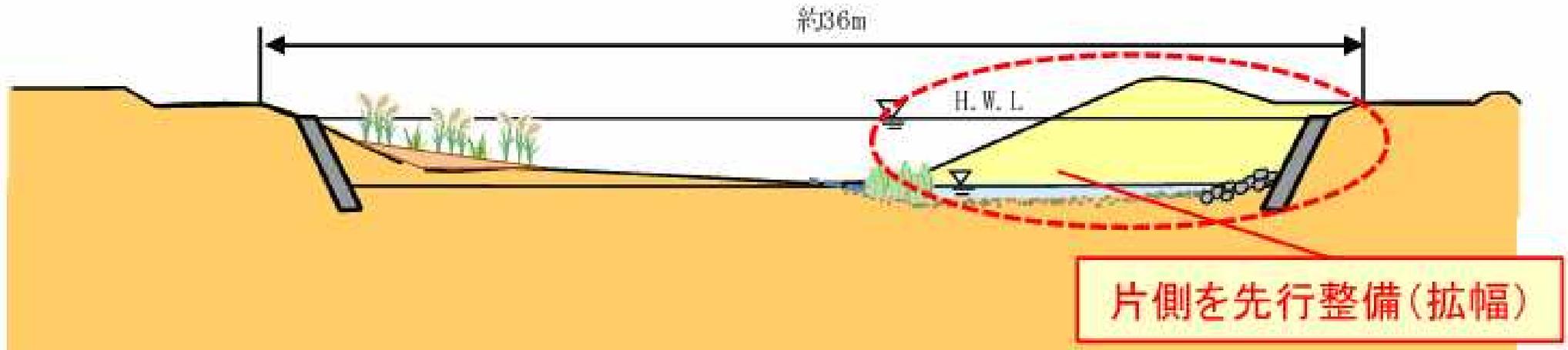
③ 河川改修事業の概要

- 事業期間：令和7年度～23年度（17年間）
- 概算事業費：65億円
- 計画規模：1/10（概ね10年に1度の大雨による洪水への対応）
- 河道整備：河道拡幅＋河床掘削（現況河床高相当） 約1.2km
- 遊水地整備：1箇所

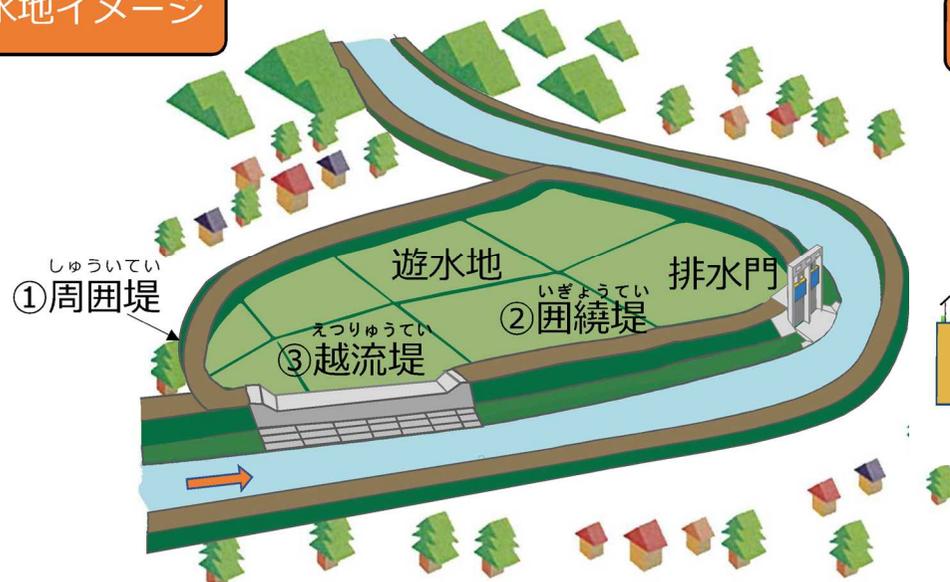


③ 河川改修事業の概要

【河川整備のイメージ】

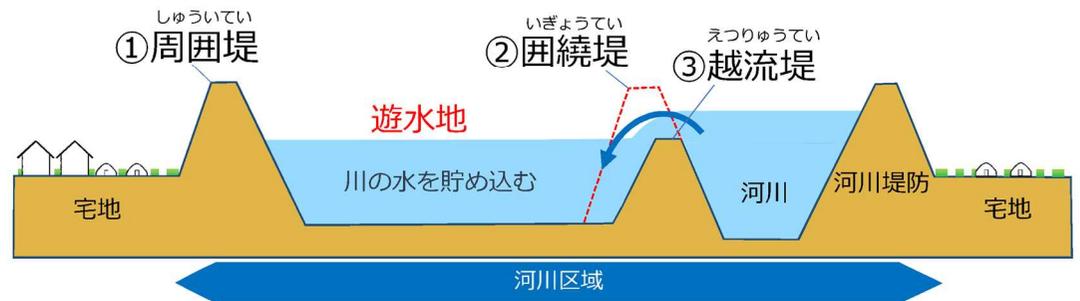


遊水地イメージ



遊水地のしくみ

- ① 周囲堤：遊水地の周囲を囲む堤防
- ② 囲繞堤：遊水地と河川の境界の堤防
- ③ 越流堤：②のうち河川の水を遊水地に流す区間



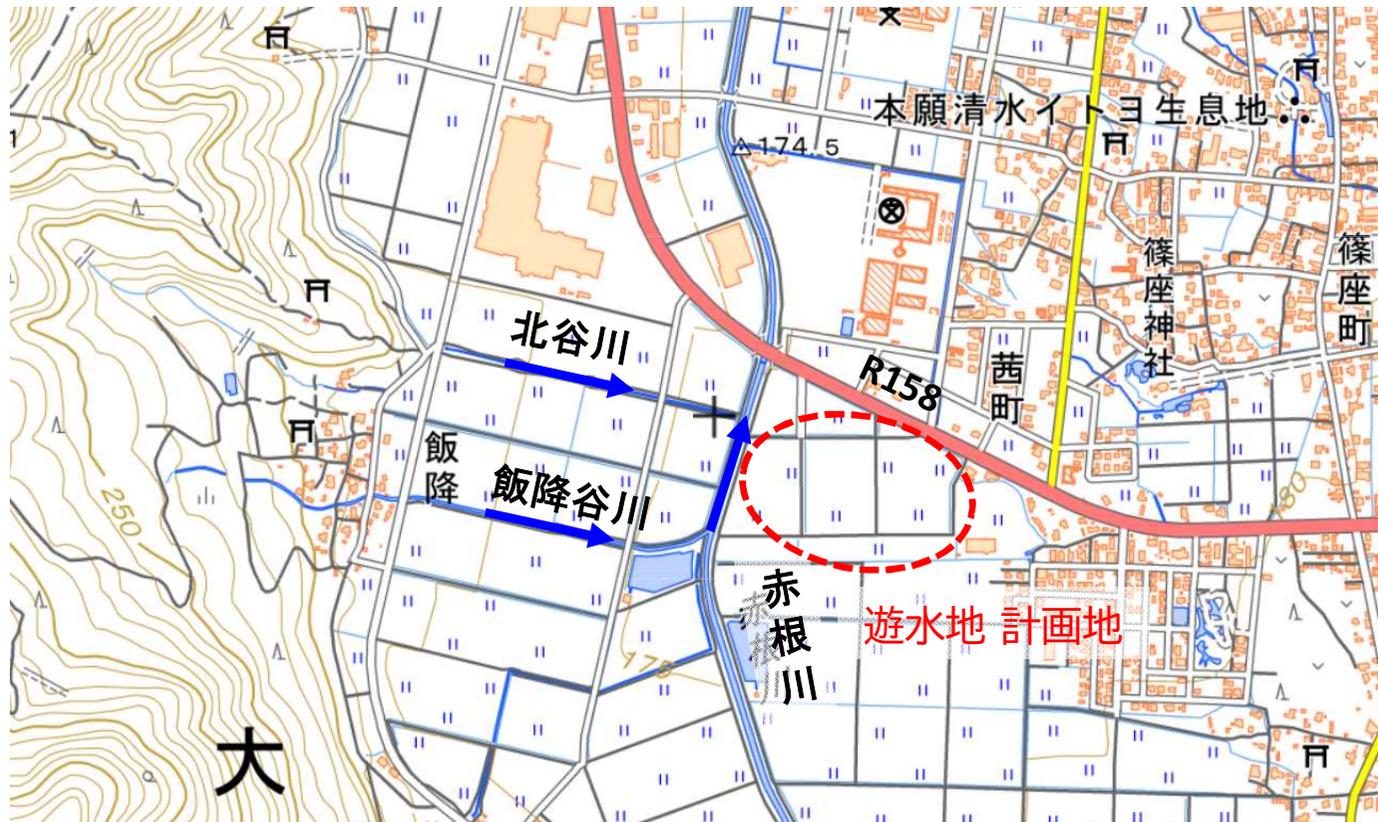
④ 河川改修事業の取組み状況・予定

- 河道整備区間、遊水地計画地の測量、土質調査を実施しており、今後、河道設計、遊水地設計を実施していく予定。
- 遊水地計画地の地下水観測に着手しており、今後、河道整備区間での地下水観測も検討・実施。

	主な実施内容
R7.6～R8.2	・河道整備区間、遊水地計画地の測量
R7.9～R8.3	・遊水地計画地の土質調査(2箇所) ※今後、2箇所追加予定
R8.3～	・遊水地計画地の地下水位観測(2箇所) ※今後、2箇所追加予定 ・河道設計 ・遊水地設計

⑤ 遊水地設計のポイント

- 遊水地整備においても、地下水の流出抑制に配慮。地下水観測結果をふまえ、貯水池の形状または地下水対策を検討。
- 遊水地は湾曲部の内側に計画しており、越流堤から遊水地に河川水が越流し難い状況。また、越流堤の設置区間において、2つの支川が合流しており流況が複雑。これらの特性を考慮し、
確実にかつ最適な洪水調節効果を発揮できるように慎重に検討。



⑥ 地下水観測の実施概要

- 地下水の流出抑制に配慮した河川整備計画であり、遊水地設計でも地下水観測結果をふまえ、貯水池の形状または地下水対策を検討。よって、工事による地下水への影響は限定的と考えるが、工事段階でも以下のとおり地下水観測を実施し、季節的変動から逸脱した地下水位低下が生じないか監視し、必要に応じて関係者と対応を協議。

		実施概要
遊水地 計画地	設計 段階	<ul style="list-style-type: none"> ・計画地の4隅で観測井を設置(ボーリング孔に水位センサーを設置) ・約1年間、地下水位の変動を連続観測
	工事 段階	<ul style="list-style-type: none"> ・工事前に、計画地周辺の井戸水の利用状況(使用目的・期間等)、井戸の設備の諸元を調査 ・工事前から工事後にかけて、定期的に井戸水の水位を観測 ・計画地の近接地で観測井も設置し、工事前から工事後にかけて、地下水位の変動を連続観測 ・井戸の揚水量、水質(pH、水温等)についても、工事の前後に測定
河道整備 区間 (1.2km)	工事 段階	<ul style="list-style-type: none"> ・沿川(堤防より30m程度を想定)において、遊水地と同様の内容で調査・観測を実施

※ 工事段階の地下水観測の具体的な内容については、今後検討。